



## 柳沢遺跡再発見新聞を作ってみて

子どもたちが自分で調べて、自分で考えながら作り上げた「柳沢遺跡再発見新聞」。  
世界で一つだけの新聞を作った感想を子どもたちに聞いてみました。



丸山大翔記者



資料もいっぱい読んだよ

全体的な文章を考えながら作るのはとても大変でした。けど、銅鐸が何個出てきたのかとか、知らないことがいっぱいあって、それを知ることができてとても楽しかったです。



高野紗耶記者



何度も読み返してみよう

読んだ人の身になって書くことは難しかったけど、いろんなことを知ることができて楽しかったです。地元の人にも、新聞を通して柳沢遺跡のことをもっと知ってもらいたいです。



倉田七斗記者



友達と協力して作ったよ

資料が見つからなくて、探して記事にするのは大変でした。僕たちが作った記事を見た人が、柳沢遺跡のことについて「へー、知らなかったなあ。」ってなってくれたらうれしいな。



皆で考えるのは大切だね

### 地域の歴史を知ること この地域がもっと好きになったよ！



集中力が大事だね

文字の範囲が決まっているから、少ない言葉で伝えることが大変でした。僕たちが作った新聞を通して、より多くの人にもっと詳しく柳沢遺跡のことを知ってもらいたいな。



武田太陽記者



難しい言葉を分かりやすくするように工夫して作りました。銅戈・銅鐸を作る技術についての記事がおすすめです。これからは、もっと柳沢遺跡の場所が分かりやすくなるといいな。



小林高雅記者



豊田そら記者



先生も手伝ってくれたよ

自分でも柳沢遺跡のことについて知らなかったのだから、調べるうちに分かってきてとても楽しかったです。自分が住んでいる地域の人により詳しく知ってもらえたらうれしいです。



山本悠天記者



パソコンを使いこなすぞ

パソコンを使って新聞を作るから、使いこなすことが大変でした。僕自身、柳沢区に住んでいるので、長野県の人全員が、知ってもらえるような有名な遺跡になるといいな。



山岸成記者



レプリカにも触れたよ

見てもらう人に分かりやすくするために、皆で相談しながら新聞の見出しを決めました。出土品の模型を見たり、分からなかったことが分かるようになったことが楽しかったです。

## ..... 古代のロマンに会いに行こう！ .....



### 中野市立博物館

- 往 片塩 1221 番地
- ☎ (22) 2005
- 営 午前10時～午後4時(12月～2月)  
3月～11月は 午前9時～午後5時
- 休 火曜日(祝日は開館)・年末年始
- 料 特別展示室：一般200円、高校生100円  
(20人以上の団体は割引あり)



▲柳沢遺跡の分かりやすい解説が載ったリーフレット(100円)も頒布中です。

中野市立博物館では、柳沢遺跡出土品の銅戈・銅鐸をはじめとする重要文化財212点を中心に、貴重な資料を展示公開しています。展示資料を通して、古代の先人たちに思いをめぐらせてはみませんか。



◀収蔵展示室には重要文化財の「銅戈・銅鐸」も常設展示されています

# キラリ☆ 中野のチカラ

原 楫 さん 【桜沢】



中野市食生活改善推進協議会（通称「食改」）を仲間の皆さんとともに立ち上げるなど、市民の食生活改善に尽力され、全国でも活躍されている原楫さん。このほど、郷土食「やしようま」の作り方を一冊の本にまとめられました。今回は、長年にわたり食育活動に取り組まれ、郷土食の伝承にも力を注がれている原楫さんにお話を聞きました。

## ○「やしようま」との出会い

私にとって、最初の「やしようま」との出会いは、太平洋戦争中の幼い頃、祖母が作ってくれたものでした。胡麻や大豆の入った素朴なものでしたが、喜びや心の豊かさをとても感じたことを覚えています。

戦争が終わり、暮らしも少し上向いてくると、食紅や小正月行事の「もづくり」に使った小判（餅干菓子）を色付けに利用し、色とりどりのやしようま作りが流行し始めました。切り口の鮮やかな色と、模様の見事に感動したことを、今でも鮮明に思い出すことができます。

## ○色を探して

食の安全・安心が求められる時代になり、子どもたちには安全なものを与えたいという考えから、食紅などの化学色素以外の物から色を探れないか試行錯誤を重ねました。赤色はビート大根、黄色はかぼちゃ、緑

色は抹茶やホウレンソウといった具合に、日常生活になじみの深い食品や食材から色を抽出しています。

## ○小さな円の中の美しい模様

やしようまの花の模様を作る時のポイント、赤は一色でなく濃淡を変えた三色を作って使うと、完成したときに花が生き生きとします。講師をしている際には、最後に木綿糸で切った中の模様が見えると歓声が上がります。

## ○郷土食をつなぐ

少子高齢化と核家族化が深まる社会背景の中で、伝統的な食文化や郷土食は家庭の中で親から子・孫へと継承されにくくなってきました。

食改では、食育活動を通し、小学生・中学生・高校生に郷土食を伝承するために各学校へ足を運んでいます。近年、子どもたちから各家庭へ逆発信され伝承されることも多くなり、今回作った本を各学校に配布することで、子どもたちに郷土の食文化や「技」を伝えていきたいです。

また、市民の皆さまにもこの本を媒体として中野の食文化、やしようま作りを体験して頂き、ご近所で大勢の仲間と集まり、楽しく作り、おいしく食べて絆を深めながら継承して頂きたいものです。また、故郷を思い、故郷に自信と誇りを持った人になってほしいと願っています。

## 広報クイズ

### ■今月のプレゼント

「干しえのきセット」…2人

### 問題

国の重要文化財に指定された柳沢遺跡出土品の数はいくつ？

「●●●点」

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、世帯主名を記入の上、今月の広報で参考になった記事、今後知りたい情報などをはがきに書いて、次の宛先までご応募ください。

締め切り 2月23日(月)必着  
※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

先月号の答え 子ども議会で質問した小学生の人数は合計何人？  
答え・・・「12人」

383-8614

（住所記載不要）

中野市庶務課  
秘書広報係 行

住所・氏名・年齢・  
電話番号・世帯主